

東松島復興推進員だより(第41号)

東松島市地域復興推進員(JICA 東北)

京野 宏美

岩崎 未来

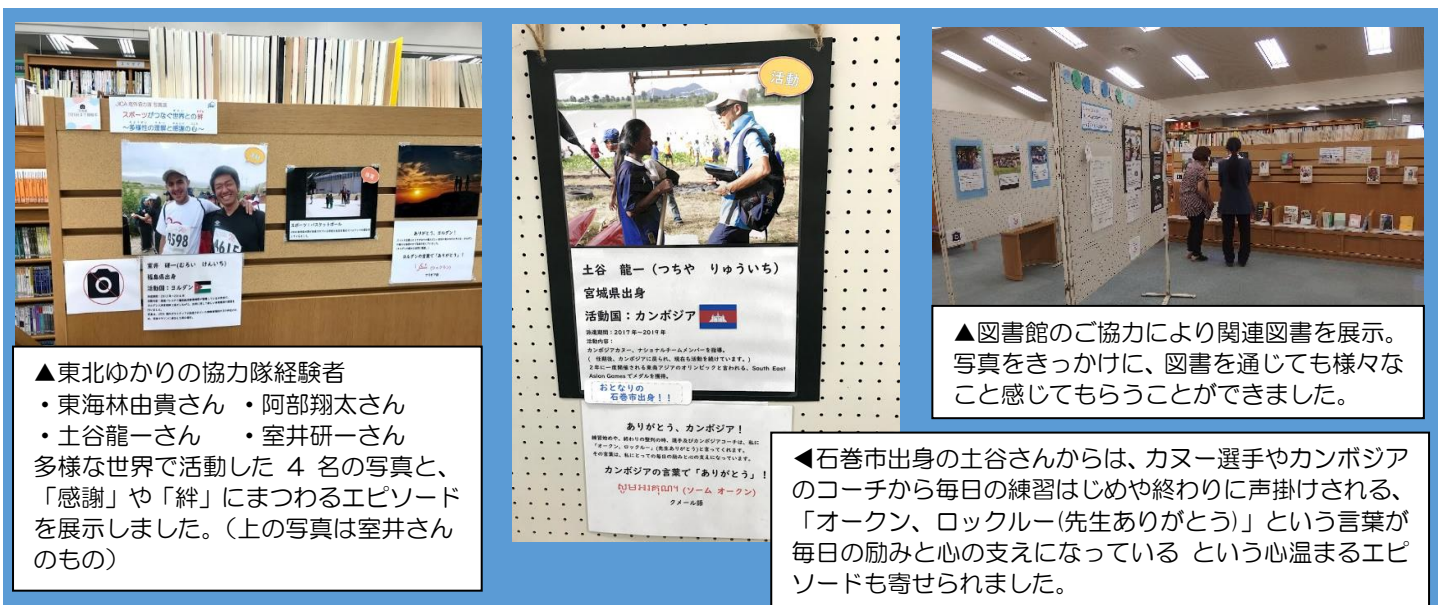
皆さんこんにちは。今回は、東松島市図書館との協力により実施した JICA 海外協力隊写真展の様子をお伝えします。

そして、東日本大震災後から東松島市へ派遣された地域復興推進員は、2020年7月をもって活動を終了します。2011年8月より発信してきた推進員だよりも、本号が最終回となります。最後に3代目となる私たち推進員より、これまでの活動への想いとお挨拶を述べさせていただきます。

【東松島市図書館で開催した海外協力隊写真展について】

2020年6月19日～7月5日、東松島市図書館にて JICA 海外協力隊写真展を開催しました。

図書館と連携した写真展の開催は、今回で3回目。テーマは「スポーツがつなぐ世界との絆～多様性の理解と感謝の心～」です。JICA 海外協力隊として、スポーツ分野で活動してきた東北出身の4名の活動写真と、日本から離れた海外の生活の中で感じた「感謝」や「絆」にまつわるエピソードを、それぞれの国の「ありがとう」の言葉とともに紹介しました。



▲東北ゆかりの協力隊経験者
 ・東海林由貴さん ・阿部翔太さん
 ・土谷龍一さん ・室井研一さん
 多様な世界で活動した4名の写真と、「感謝」や「絆」にまつわるエピソードを展示しました。(上の写真は室井さんのもの)

活動
 土谷 龍一(つちや りゅういち)
 宮城県出身
 活動国：カンボジア
 活動期間：2017年～2019年
 活動内容：
 カンボジアのサッカーチームのコーチを務める。
 (帰国後、カンボジアに滞在し、現在はサッカー指導者として活動中。)
 日本へ帰国後からは海外ボランティアとしてカンボジア、South East Asian Games でメダルを獲得。
 おとなりの
 支那隊出身!!
 ありがとう、カンボジア!
 帰国後、練習の場、選手及びカンボジアチーム、特に「オウゴン」(オウゴン)と名乗る方と交流が深まりました。
 カンボジアは、私にとっての毎日の励みと心の支えになっています。
 カンボジアの言葉で「ありがとう」!
 ありがとう(ソム オウゴン)
 タメール様

▲図書館のご協力により関連図書を展示。写真をきっかけに、図書を通じても様々なこと感じてもらうことができました。

▲石巻市出身の土谷さんからは、カヌー選手やカンボジアのコーチから毎日の練習はじめや終わりに声掛けされる、「オウゴン、ロックルー(先生ありがとう)」という言葉が毎日の励みと心の支えになっているという心温まるエピソードも寄せられました。

今回の展示では、ボリビアでのエアロビクス普及、ニカラグアでの野球指導、カンボジアでのカヌー選手の育成、そしてヨルダンでの体育教育の様子をご紹介します。ご協力いただいた4名の方々のエピソードは、国や文化、立場も異なるなか、スポーツを共通点としてお互いを尊重し感謝し合いながら、それぞれの国の人々と強い絆を結んできた想いが伝わってくるものでした。

また、写真展にあわせ館内では、隊員が活動した国や文化、スポーツ、社会課題等に関する図書展示も行いました。写真展を通じた新たな本との出会いによって豊かな心を育むきっかけとなれば

と思います。そして、ご来場いただいた方が、これから進む社会の多様性の中で人との絆や感謝の心、互いに協力しあう大切さを感じることで、より良い世界を考える第一歩につながれば、うれしい限りです。

【東松島市地域復興推進員よりご挨拶 ～東松島市での活動をふりかえって～】

京野 宏美

私は 2017 年 7 月より地域復興推進員として活動してきました。市内での JICA 研修の受入業務に関わらせていただき、東松島市の復興に関する貴重な経験・知見を、多くの国々からの研修員に学んでもらうお手伝いができました。時には地域の方の被災体験に涙しつつも、世界の様々な自然災害や紛争からの復興に自分が少しでも貢献できたことを、大変うれしく思います。

一方で、地域のまちづくり会議等の参加から、復興まちづくりは未だ多くの課題を抱えていることも分かりました。建物や道路などとは異なり、地域コミュニティは課題が一見分かりにくく、今なお地域の皆さんや市関係者の方々の努力により、一歩ずつまちづくりが進められています。「JICA を通じて東松島に貢献できることはないか」と考え、悩むことばかりだった私ですが、多くの方々のご協力のおかげで今日まで活動することができました。

お世話になった皆さまに心から感謝いたします。ありがとうございました！

岩崎 未来

2018 年 11 月に着任し、主に東松島市における SDGs の普及啓発活動の支援、国際理解教育の推進、JICA 研修の受入支援等において、地域のみなさんや子どもたちと関わらせていただきました。

活動の中で印象深かったことは、任期中計 3 回、市図書館で実施した、JICA 海外協力隊写真展です。写真を通じて、活動のことや海外の文化等に触れていただく機会を作ったところ、来場者のみなさんからの反響が大きく、企画してよかったと心から思いました。

配置先の市役所のみなさまをはじめ、東松島のみなさんに温かく受け入れていただき、無事、任期を終えることができました。1 年 9 か月と短い間でしたが、ありがとうございました。また世界のどこかでお会いしましょう！！

JICA による東日本大震災への協力として、2011 年 8 月より開始した東松島市地域復興推進員の派遣は 2020 年 7 月をもって終了します。この間 3 期にわたり 8 名の推進員が市内で様々な活動を行い、この推進員だよりを通じて発信してきました。これまでの推進員に対する皆様のご理解とご支援、JICA 事業へのご協力に感謝いたします。

今後も JICA は東松島市と連携し、東日本大震災の経験や復興の取組みを発信、共有することを通じ、被災国・地域の復興や課題解決、また災害に強いまちづくりの支援に、皆様と協力して取り組んでいきたいと存じます。

2020 年 7 月 JICA 東北